

精神科コロナ重点医療機関での受入実績

- 健康医療局によると、精神科病院のクラスター発生数や感染者の全数は把握していないとのことです。
- 精神科病院、一般病院、在宅・施設で発生した新型コロナウイルス感染者のうち、精神科コロナ重点医療機関で受け入れて対応した件数を報告します。

※精神科コロナ重点医療機関とは

県では、一般の医療機関では対応が難しい、精神疾患の症状が重く、かつ新型コロナウイルス感染症に感染した方に適切な医療を提供するため、精神科領域と感染症領域それぞれの強みを生かした「精神科コロナ重点医療機関」を設置

入院経緯	受入先	人数
相州病院クラスター (患者8名、職員2名)	精神医療センター	1人
ハートフル川崎病院クラスター (患者34名、職員15名)	臨時の医療施設	3人
ふじの温泉病院クラスター (患者56名、職員35名)	臨時の医療施設 精神医療センター	3人 3人
愛光病院クラスター (患者94名、職員13名)	臨時の医療施設 精神医療センター(上り搬送) 精神医療センター(下り搬送)	34人 1人 13人
常盤台病院クラスター (患者5名)	精神医療センター	2人
相模病院クラスター (患者38名、職員6名)	臨時の医療施設	1人
厚木佐藤病院クラスター (患者36名、職員12名)	臨時の医療施設	7人
精神科病院の陽性者(単発)	臨時の医療施設 精神医療センター	3人 2人
一般病院からの転院依頼	臨時の医療施設 精神医療センター	2人 1人
在宅・施設の陽性者	臨時の医療施設 精神医療センター	1人 4人